

世界かんがい施設遺産

あさかそすい

安積疏水

[福島県・郡山市 他]

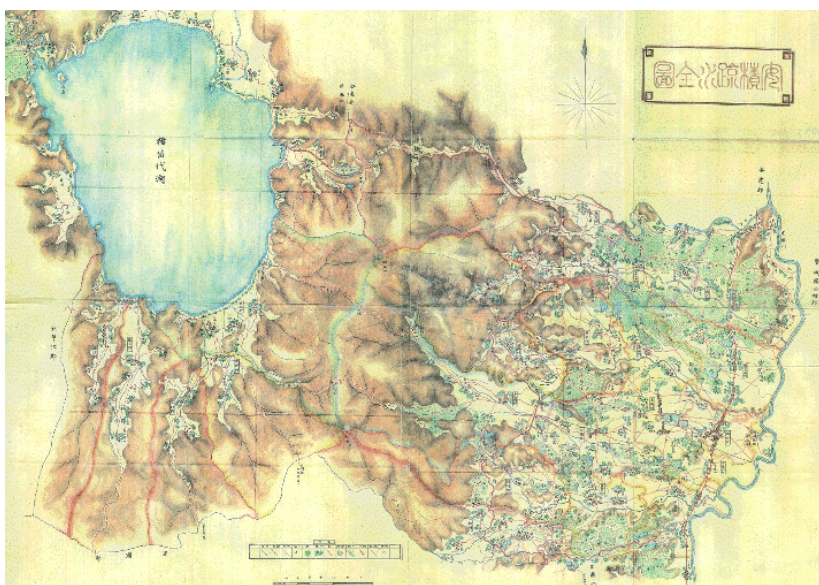
- 福島県のほぼ中央部に広がる県内有数の水田農業地帯。
- 明治政府は、士族授産と富国強兵を図るため安積原野に猪苗代湖疏水事業を国営第1号の農業水利事業として明治12年に着工、僅か3年で127kmに及ぶ水路が完成。
- 本事業の最重要施設である十六橋水門を造ることで、猪苗代湖をダム化し、湖水を高度利用。
- 十六橋水門は現在稼働しているコンクリート構造物水門では日本最古。

Asakasosui Irrigation System

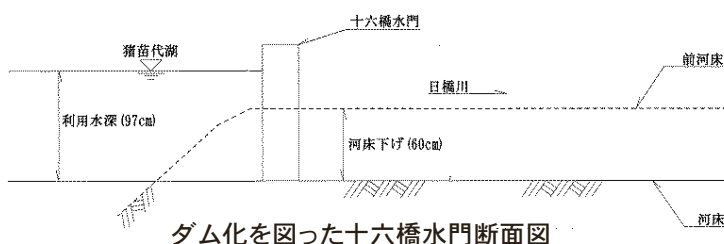
安積原野を美田に一変させるとともに、電力や都市用水に利用され、地域繁栄の基礎を築いた疏水。



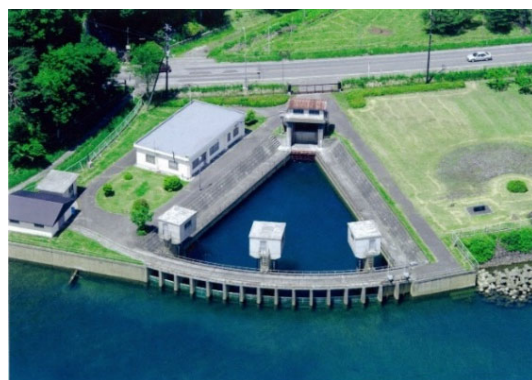
現在の十六橋水門



明治15年安積疏水かんがい全図



当初の十六橋水門



現在の取水口【上戸頭首工】